

ようこそ、まりあ食堂へ。



2023年8月21日（月）

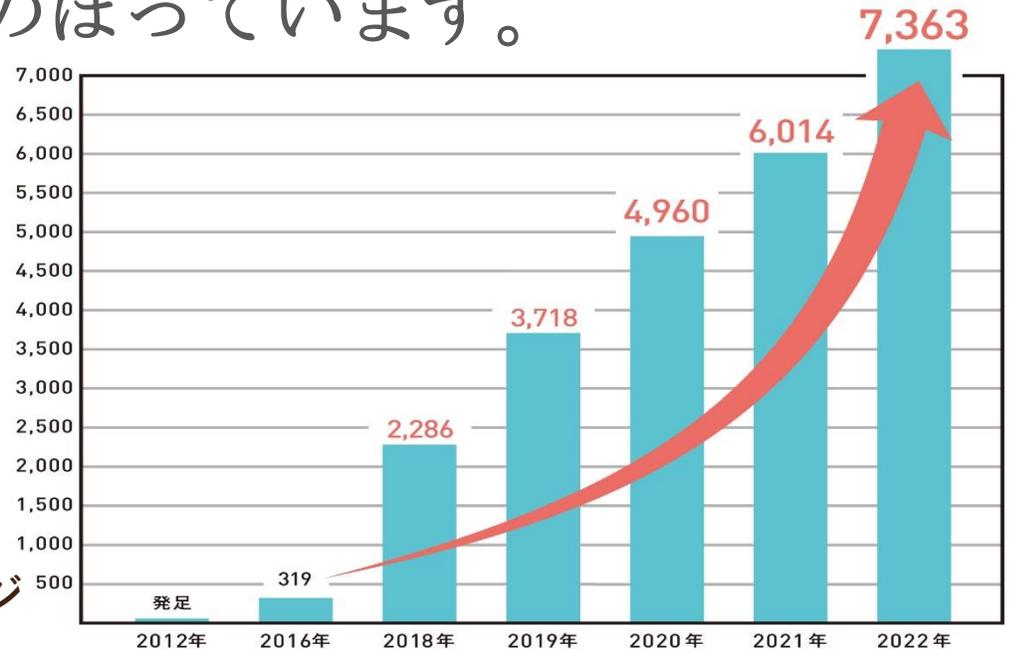
まりあ食堂

事務局代表 鳥生 文子

はじめに・・・こども食堂ってどんなところ・・・？

子どもが一人でも行ける無料または低額の食堂です。「地域食堂」「みんな食堂」という名称のところもあります。こども食堂は民間発の自主的・自発的な取り組みです。運営を支援する公的な制度などは整備されていないが、こども食堂の数は増加の一途をたどっており、現在その数は全国で約7,000箇所にもものぼっています。

こども食堂は、**すべての子どもに**
「人としての豊かさ」を提供することができる

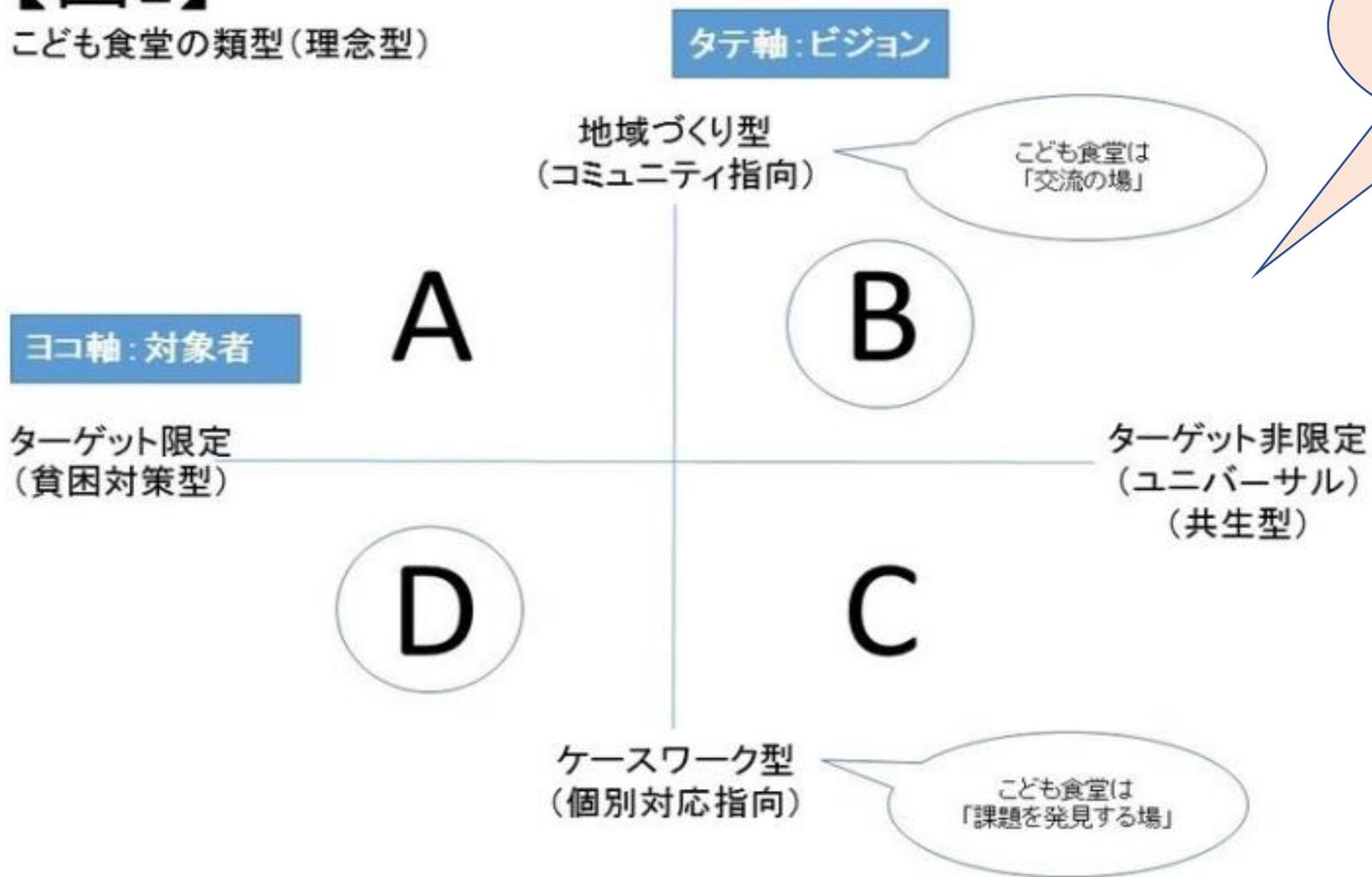


出典：認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえホームページ

2018年以降は認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ、および地域ネットワーク団体調べ、2016年は朝日新聞調べ

【図1】

こども食堂の類型(理念型)



まりあ食堂

- 多世代交流5つの価値
(バリュー)
- ①にぎわいづくり
(地域活性化)
 - ②子どもの貧困対策
 - ③孤食対策
 - ④子育て支援、虐待防止
 - ⑤高齢者の健康づくり
- 2019.12 湯浅誠氏

まりあ食堂をご紹介します♪

- 主催：片瀬地域有志と教会有志
- 活動開始：2016年6月
- 活動場所：カトリック片瀬教会（藤沢市片瀬海岸）
- 活動時間：毎月第一木曜日 15:00～19:00
※17:00～19:00（準備10:30～）
- 内容：こども食堂（食事の提供）と遊び
※2020年10月から お弁当と遊びの提供・パントリー
- 対象：子ども 子どもと一緒におとな
- ボランティア：地域の有志、教会の有志、学生、市社会福祉協議会関係者
市役所職員、地域団体（片瀬こま保存会）等
- 1回当たり平均 食堂開催48回 利用70人,ボランティア29人
フードパントリー開催35回 利用126食,ボランティア26人



どのように運営しているの？

：ボランティアがそれぞれの強みを出し合って、可能な時間帯に参加。

：会場→教会施設を活用。

：食材→生鮮食料品はなるべく近隣で購入。

藤沢市農福連携事業によるJAさがみ直営所からの野菜提供の活用。

近隣商店・個人・企業・お寺・フードバンクふじさわの寄贈。

：弁当箱・衛生管理備品・調理器具→寄贈と購入。

：ご寄付・各種助成金

：学校や保育園・幼稚園・関係者へまりあ食堂通信配布（毎月発行）

：保健所対応準備。食品衛生、感染症対応は逐次学習。

傷害保険と損害賠償保険に加入。

食の安全安心に取り組んで・・・

食品衛生、食の安心安全に取り組み・・・。献立の工夫も。
どうしたら子どもたちは野菜を食べるかしら？
どうしたらおいしく楽しく食卓を囲めるかしら？



ある年の5月鯉のぼりご飯

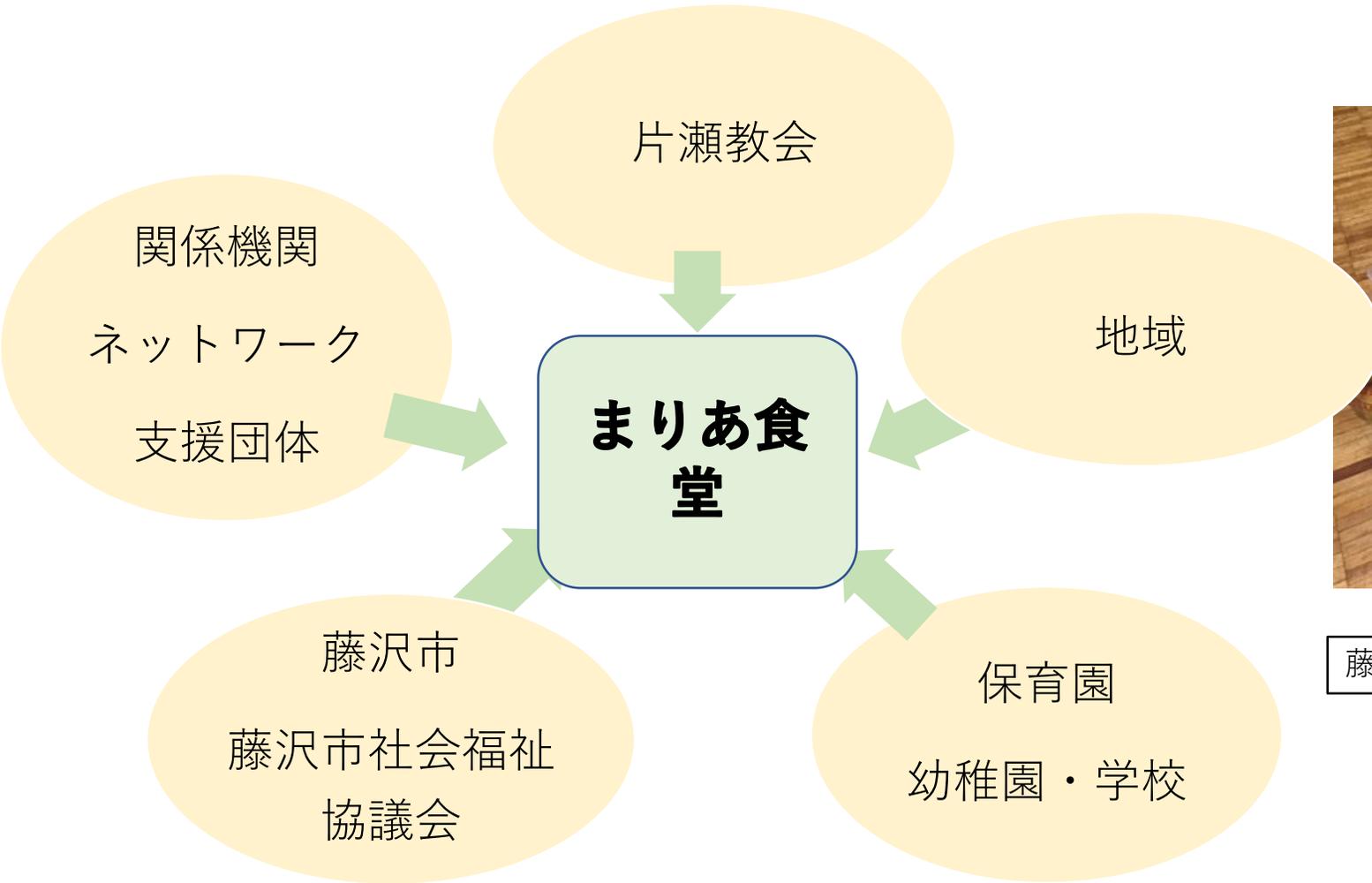


衛生管理に注意して盛り付け作業



検食！

まりあ食堂のネットワーク



藤沢市農福連携事業 JAさがみわいわい市から提供

さまざまなニーズに出会って①・・・

- ・最近〇〇ママ見かけないよね、まりあに誘ってみよう。
- ・ここだと自然に知らない子同士でも遊ぶんですよね。
- ・この子と二人行き場がなくて息がつまりそうでした。

(ママのつぶやきから)

- ・行事で教会前を通った時に子どもたちが「ここ、知ってるよ。すごく楽しいんだよ。」と話してくれて、大切な居場所だと実感した。

(近隣小学校教職員から)

- ・こういう場所があると私たちの施設に来る子どもも少なくなるように思う。
- (児童養護施設関係者から)

自分たちが若いママだったあの頃に「使いたかった場」をつくらう！！



さまざまなニーズに出会って②～コロナ禍以降の気づき

- ・月1回、このお弁当を孫と食べることを楽しみにしています。
- ・体調が悪く参加できないのでお弁当だとありがたい。
(デリバリー対応中)
- ・部活の息子やパパは帰りが遅いのでお弁当は便利です。
- ・コロナで行くところもなく、しゃべる相手もいなかったので楽しい。(ボランティア)
- ・お弁当をもらえると私の手間が減るのできょうだいの分ももらっていいですか。(※他食堂利用の高校生・・・)

お弁当と会食のハイブリッド方式にしたい！！

まりあ食堂の課題～ソフト面

これまでの課題

資金不足。

→ご寄付と助成金メニューの増加で解消。

若手ボランティアはライフステージが変わると参加継続が困難。

→高校生（学校ぐるみ）の参加！



残された課題

こども食堂は困った人のためにあるんでしょ。

あんなところに、行っちゃダメ。困った人はどこにいるの？

高齢者が利用してもよいですか。

→シルバーパワー全開のボランティアに支えられ、いずれは、誰もが参加できる食堂にしたい。

地域の課題～ハード面

企業や団体からの寄贈品が増えました。

→うれしい！ありがたい！

でも保管場所が足りない！

冷凍冷蔵品を受け取れない！



寄贈品を仮置きできるハブ拠点がほしい！

冷凍冷蔵庫があって、2トン車が入れる場所があるといいなあ！



市内の仲間と「ふじさわこども食堂・地域食堂ネットワーク」をつくりました。



藤沢市・藤沢市社会福祉協議会にも相談中！



ふじさわこども食堂・地域食堂ネットワーク



- 運営者同士、寄贈品や助成金情報、悩みをシェアして課題解決！
- 利用者には、「いつ」「どこで」「どの食堂が運営しているか」マップで紹介できる！応援メッセージを発信することができる📣
- 応援してくださる企業や団体には、効率的に物資や金銭支援が必要な食堂を紹介することができる。
- 市や市社会福祉協議会には、食堂の実態把握ができる。
- ネットワークとしてフードバンク等関係機関とつながることができる！

「なんかわからないけど、たのしいね♪」

～子どもものこんなことばに支えられて～

まりあ食堂は、おとうさん、おかあさんのお休み処として、とりたてて困りごとがない人も、何かに困っている人も参加できる場として、そして食をとおして子どもの育ちを見守る場として、協力してくださる仲間と共に育み、未来に紡いでいきます。

そして、ネットワークを通して、仲間同士互いに交流を深め、支えあいの和をひろげていきます。

ご清聴ありがとうございました。

